

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 13 日 (2017.4.13)

【公開番号】特開 2015-230771 (P2015-230771A)

【公開日】平成 27 年 12 月 21 日 (2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2015-080

【出願番号】特願 2014-115220 (P2014-115220)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/42 (2006.01)

H 0 1 R 13/652 (2006.01)

H 0 1 R 13/639 (2006.01)

H 0 1 R 13/405 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/42 A

H 0 1 R 13/652

H 0 1 R 13/639 Z

H 0 1 R 13/405

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 7 日 (2017.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

上述した実施の形態において、グラント部材 8 0 の主部 9 0 に形成される孔 9 4 及び突起収容部 9 6 は、グラント部材 8 0 のピッチ方向における中心を通り且つ前後方向に延びる直線に対して線対称に配置されていたが、同一構造のコンタクト部材 2 0 U, 2 0 L をグラント部材 8 0 と組み合わせて、上下左右において対称な構造を持たせるためであり、そのような必要がない場合には、孔 9 4 及び突起収容部 9 6 は、線対称に配置されていなくてもよい。